

ひょうご事業改善レビューシート

様式 1

レビュー項目 (事業名)	骨髄提供しやすい職場環境づくりの推進 (勤労者の骨髄等移植ドナー環境づくり推進支援事業)				部(局)	保健医療部				
					所管課	薬務課				
					担当班	薬務指導班				
					連絡先	078-362-3268				
開始年度	平成29年度	終了年度	—	関連計画等	—					
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業									
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	兵庫県				
事業目的	(公財)日本骨髄バンクのドナー登録者は全国で54万人に達し、移植を待つ患者の約96%に適合するドナーが見つかる状況であるが、ドナー登録者が健康上の理由や仕事などの都合により移植に至らないケースが多く、移植を受けられるのは、登録患者の約60%にとどまっていることを受け、骨髄等移植ドナーの確保やドナーとして骨髄提供しやすい職場環境づくりに積極的に取り組む県内事業所に活動支援金を交付し、骨髄等移植の推進を図る。									
事業概要	「健康づくりチャレンジ企業」に登録されている企業・団体であって、かつ、交付要件の全ての区分について、それぞれ1項目以上を満たす事業者に対して、支援金として10万円を交付する。 【支援金の交付要件】 (1)支援制度 ①骨髄等ドナー休暇制度の導入・運用 ②骨髄等提供のために休んだ場合の給与相当分を補償する仕組みの導入・運用 (2)普及啓発 ①骨髄等移植に関する社内外への啓発活動の実施 ②ドナー経験者又は元患者等を招いての講習会の開催(他企業との共催可) (3)機会確保 ①献血併行型ドナー登録会の開催(他企業との共催可) ②骨髄バンクドナー登録制度の説明員有資格者が1人以上在籍									
これまでの改善状況	兵庫県血液センター、骨髄ライオンズクラブ等を通じて、企業の経営者等に支援制度の周知を行うとともに、令和2年度から骨髄ドナー休暇制度を導入済の企業や企業献血を実施している企業に対して、直接、支援制度の周知を行い、交付要件である(1)支援制度の導入や(2)普及啓発、(3)機会確保の実施依頼を行っている。									
業務フロー	事業計画検討・作成(事業者)→交付申請(事業者)→受付・審査・交付決定(県)→事業実施(事業者)→事業実績報告・請求書提出(事業者)→交付(県)									
事業に要するコスト	区 分		2年度決算額		3年度決算額		4年度当初予算額		5年度当初予算額	
	事業費①		400千円		500千円		1,200千円		1,200千円	
	経費内訳	報酬・賃金								
		委託料								
		補助金・交付金	200千円		300千円		1,000千円		1,000千円	
		貸付金								
		その他	200千円		200千円		200千円		200千円	
	(財源内訳)	(国庫)								
		(特定)法人県民税超過課税	(400千円)		(500千円)		(1,200千円)		(1,200千円)	
		(起債)								
		(一般財源)								
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		3,200千円		2,200千円		1,200千円		1,200千円	
	執行率((①/②)×100)		12.5%		22.7%		100.0%		100.0%	
	人件費③(a+b+c)		従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人
			830千円		822千円		862千円		862千円	
職員給与費 a		719千円		710千円		751千円		750千円		
賞与引当金繰入額 b		58千円		57千円		58千円		57千円		
退職手当引当金繰入額 c		53千円		55千円		53千円		55千円		
総コスト(①+③)		1,230千円		1,322千円		2,062千円		2,062千円		

ひょうご事業改善レビューシート

様式 1

評価	指標名	区分	2年度実績	3年度実績	4年度見込	5年度目標	最終目標【年度】
	成果指標(アウトカム指標①)	兵庫県内の骨髄等ドナー休暇制度の導入企業の累積数	目標	—	—	—	73
実績(見込)			60	67	(68)	(73)	【R7年度】
(単位当たりコスト)							
達成率(見込)			—	—	—	(100.0%)	
成果指標(アウトカム指標②)	企業献血を実施したことがある事業所のうち併行型ドナー登録会を実施したことがある企業数	目標	124	124	124	124	
		実績(見込)	110	112	(113)	(124)	
		(単位当たりコスト)					
		達成率(見込)	88.7%	90.3%	(91.1%)	(100.0%)	
活動指標(アウトプット指標①)	支援金交付件数	目標	30	20	10	10	10
		実績(見込)	2	3	(1)	(10)	【R7年度】
		(単位当たりコスト)	(615 千円)	(441 千円)	(2,062 千円)	(206 千円)	
		達成率(見込)	6.7%	15.0%	(10.0%)	(100.0%)	
終期設定	有 ()						無
改善基準							

自己評価	評価の視点	評価	目標に対する達成状況(総合的評価)
	<p>○有効性(評価指標に対する実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・民間での事業実施は見込めない事業か ・指標・目標設定は適切か ・活動実績は十分か ・想定された成果を達成しているか など <p>○効率性(最小のコストで最大の効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務改革に取り組んでいるか ・コスト削減の工夫を行っているか ・ICTや民間活力は活用しているか ・受益者負担は適正か ・財源確保の工夫は行っているか など 	<ul style="list-style-type: none"> ・骨髄提供には合計10日間程度の通院及び入院が必要となるため、休暇制度の導入が有用である。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、企業献血の中止が相次ぎ、献血併行型ドナー登録会の実施ができず、事業実績としては伸び悩んでいる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア団体、兵庫県血液センター等との連携により、効果的に事業を進めている。また、企業への働きかけについても、ボランティア団体の協力を得て実施している。 ・財源は法人県民税超過課税の勤労者福祉基金を活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・骨髄ドナー休暇制度の導入事業所数は、年々増加しているが、支援制度の活用は低調となっている。 ・新型コロナウイルス感染症の5類化を受け、今後は、さらに積極的に企業への働きかけを行うことができるため、団体等との連携を深め、事業推進を図る。

課題・今後の方向性

改善 他事業と統合 その他

説明〔 広報の強化、交付要件の緩和等による助成制度の改善など、骨髄提供しやすい職場環境づくりに取り組む企業を増加させるための方策を検討 〕

外部委員会意見

- ・本事業の利用促進にあたっては、交付要件を一度に全てではなく、段階的にクリアさせていくような制度設計も検討してはどうか。
- ・職場環境を変えていくには、経営陣へのアプローチが重要である。また、経営陣へ意見ができる産業医や保健師へのアプローチを強化すべき。
- ・今のアウトカム指標に加え、中間アウトカムを設定すべき。例えば、骨髄提供に不安があるかや、骨髄提供にあたって休みやすい環境にあるかなどをアンケート調査し、指標として設定できないか検討してはどうか。
- ・本事業は県内企業を対象とした事業であるので、県内企業がどれだけ移植しやすい環境になったかを測定する必要がある。そのためには、県内でドナー登録した人が実際に移植に至った割合などを指標として設定できないか検討されたい。

改善結果

- ・支援金の交付要件を2段階とし(①骨髄等ドナー休暇制度の導入、②骨髄移植に関する普及啓発、理解促進に資する社内広報の実施)、各段階の達成ごとに支援金を交付する制度への変更を検討
- ・骨髄ドナーの候補者に対して休暇制度の活用状況等についてアンケート調査を行い、R6年度以降、結果を集計・分析した上で、新たな指標を検討